

後志管内市町村職員を対象とした

橋梁メンテナンス講習会

を開催しました



8月4日（月）、自治体への技術支援の一環として、管内自治体25名に対して「橋梁点検講習会」を開催しました。

管内の自治体が管理する橋梁は約1,100橋あり、それらの老朽化が年々進んでいる状況です。

また、昨年9月の道路法改正を受けて今年6月に道路橋定期点検要領が改定され、5年に1回の近接目視点検等が義務付けられました。

一方、自治体では橋梁点検の実務担当者が不足しているなどの課題があります。

講習会は座学と現地視察で構成し、座学は当部岩内道路事務所で点検要領の改訂概要、橋梁損傷のメカニズム、橋梁点検のポイント、そして、国道276号の橋梁（宿内橋）を題材とした点検結果、健全度診断、詳細調査、補修方法までの流れを説明し、その後、現地に移動し実際に橋梁を目の前にしての説明を行いました。



当部岩内道路事務所での座学



宿内橋（そこないばし）での現地視察

